

経営指標の概要

下水道事業

1. 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標である。 ・単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要。 			
② 累積欠損金比率 (%)	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益－受託工事収益}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標である。 ・累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められる。 			
③ 流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・短期的な債務に対する支払能力を表す指標である。 ・一年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要である。 			
④ 企業債残高対事業規模比率 (%)	$\frac{\text{企業債現在高合計－一般会計負担額}}{\text{営業収益－受託工事収益－雨水処理負担金}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標である。 ・明確な数値基準はない。 			
⑤ 経費回収率 (%)	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄われているかを表した指標であり、使用料水準等を評価することが可能である。 ・使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%であることが必要である。 			
⑥ 汚水処理原価(円)	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}}$		
<ul style="list-style-type: none"> ・有収水量1m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標である。 ・明確な数値基準はない。経年比較や類似団体との比較により状況把握ができる。 			
⑦ 施設利用率 (%)	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適性規模を判断する指標である。 ・明確な数値基準はないが、一般的には高い数値であることが望まれる。 			
⑧ 水洗化率 (%)	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標である。 ・公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%となっていることが望ましい。 			

2. 老朽化の状況

① 有形固定資産減価償却率 (%)	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化割合を示している。 ・100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることを示している。 			
② 管渠老朽化率 (%)	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表す指標で、管渠の老朽化割合を示している。 			
③ 管渠改善率 (%)	$\frac{\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$	×	100
<ul style="list-style-type: none"> ・当該年度に更新した管渠延長の割合を表す指標で、管渠の更新ペースや状況を把握できる。 ・数値が1%の場合、全ての管渠を更新するのに100年かかる更新ペースであることが把握できる。 			